

2020年度 第20回教育研究審議会議事概要

日時 令和3年2月10日(水) 午後4時00分～午後6時02分

場所 本部棟3階 大会議室

出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、ハウエル・エヴァンス英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、中村さき子学生課長

1 開 会 藤田学長より挨拶

2 議 事

(1) 特任教員の採用について

○委員から資料1に基づき説明。→2週間の閲覧に供し次回投票。

◇(特任准教授) Aタイプ

(2) 特任教員の採用について

○委員から資料2に基づき説明。→2週間の閲覧に供し次回投票。

◇(特任准教授) Bタイプ

(3) 専任教員の移籍について

○学長及び委員から資料3-1に基づき説明。

上記に伴う教員移籍の教員選考委員会を組織する。

◇比較文化学科(移籍)

(4) 特任教員の人事提案について(地域交流研究センター)

○委員A及び委員Bから資料4に基づき説明。

→提案通り承認。(投票省略)

◇(特任准教授) Bタイプ・R3.4.1から1年間

(5) 特任教員の任期更新について(英文学科)

○委員から資料5に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇(特任教員) Aタイプ・R3.4.1から2年間

(6) 特任教員の任期更新について(地域交流研究センター)

○委員から資料6に基づき説明。→提案通り承認。(投票省略)

◇(特任講師) Cタイプ・R3.4.1から1年間

(7) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（英文学科）

○委員から資料 7-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。 2 件

◇英語圏文学・文化概論Ⅱ

◆現担当者が出講不可能となったため。

◇アカデミック・スキルズ

◆現担当者が出講不可能となったため。

○委員から資料 7-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇日本アメリカ文学・黒人研究会・神奈川大学人文学
(非常勤講師) ランク A

○委員から資料 7-3 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇日本中世英語英文学・日本アイスランド学・中央英米文学など
(非常勤講師) ランク B

(8) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（比較文化学科）

○委員から資料 8-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。

◇ジェンダー論・比較文化第三演習Ⅸ・比較文化第四演習Ⅸ・現代世界とジェンダー・比較文化論（大学院）

◆現担当者の退職のため。

○委員から資料 8-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇アメリカ学・アメリカ史学・ジェンダー史学・女性労働問題研究会・歴史学研究会
【非常勤講師】 ランク A

(9) 非常勤講師採用候補者に係る資料等について（国際教育学科）

○委員から資料 9 に基づき説明。→提案通り承認。

◇ISFTE, International Society for Teacher Education ほか
(非常勤講師) ランク A

(10) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科）

○委員から資料 10-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。

◇学習の心理学・カウンセリング・発達の心理学・人格心理学・心理学研究法Ⅰ,Ⅱ

◆前任者の本務校決定のため。

○委員から資料 10-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇日本心理学・日本発達心理学・日本マインドフルネス学
(非常勤講師) ランク C

(11) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科）

○委員から資料 11-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。

◇情報リテラシーⅡ（統計）・確率統計基礎・統計学・統計学特論Ⅱ

◆担当教員退職のため。

○委員から資料 11-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇日本数学

(非常勤講師) ランク A

(12) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について (地域社会学科)

○委員から資料 12-1 に基づき「非常勤講師担当科目コマの発議・提案」について説明。→提案通り承認。

◇財政学 I ・財政学 II

◆自己都合による科目担当死体に伴う後任。

○委員から資料 12-2 に基づき「非常勤講師採用候補者に係る資料等」について説明。→提案通り承認。

◇日本地方経済学・日本財政学

(非常勤講師) ランク C

(13) 2021 年度の特例措置としての遠隔授業実施について (国際教育学科)

○委員 A から資料 13 に基づき説明。→提案通り承認。

委員 B→担当教員への報酬等はどうなるのか。

委員 A→通常の非常勤講師と同様の取り扱いとなる。なお、来年度は試験的な実施のため特例措置扱いであるが、実施状況等によっては継続的な実施につなげる可能性もあることを承知いただきたい。

学長→執行部としても様々な海外の大学との遠隔授業については肯定的な考えであるため検討のうえ取り入れていきたいと考える。

(14) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について (国際教育学科)

○委員から資料 14 に基づき説明。→提案通り承認。

◇アクティブラーニング II (コミュニケーション) ・インストラクショナルデザイン

◆開講科目のため

(15) 令和 3 年度 非常勤講師の授業担当科目について (継続 第 10 回)

○委員から資料 15 に基づき説明。→提案通り承認。

(16) 令和 3 年度 非常勤講師の授業担当科目について (取消 第 3 回)

○委員から資料 16 に基づき説明。→提案通り承認。

(17) 大学評価結果 (委員会案) に対する意見について

○委員から資料 17 に基づき説明。→提案通り承認。

(18) 公立大学法人都留文科大学 第 3 期中期目標について

○委員 A から資料 18 に基づき説明。→提案通り承認。

学長→会議終了後に審議会委員が確認できるよう資料を送付していただく。

委員 B→該当する方が記載したとのことであるが、どの項目に誰が記入したものか分かる資料もいただきたい。

委員 C→6 項の学術情報リテラシー部分について「デジタルシチズンシップ」という言葉が注目され始めているため検討いただきたい。

学長→教育会では「デジタルシチズンシップ」は重要となるため用語として取り入れるものとする。

(19) その他

○委員 A から特任教員の所属部署について、現行キャリア支援センター所属になっており、例年、公開講座を実施していただいている該当教員について実施事業部署である地域交流研究センターでの更新が望ましいと考える。なお、本日提案された議事（1）とは別の取り扱いとしていただきたい。

委員 B → 実質的な内容から事務局長の提案が適切であると考えます。

委員 C → 以前からセンター運営員会でも地域交流研究センター所属であるほうがふさわしいという意見もあった。次回の地域交流研究センター運営会議で審議のうえ更新の提案をさせていただく。

3 報 告

(1) 新型コロナウイルス感染症等対策本部会議報告について

○委員から感染者や検査受検状況などの報告。

(2) 指導書の保管・活用についてについて

○委員から資料 19 について報告。

(3) その他

○委員から3月に受け入れ予定で承認いただいていた2名の留学予定者について先方から感染症の状況から今回は辞退する旨の連絡があった報告。

4 閉 会

以 上